

【四季折々・ From Kobe2025】 更新が遅れた本年 歳の初めの神戸便りの記録

2025年1月年賀 & 2月節分・春の足音 神戸便り 2025.2.5.

年賀 & 神戸春の足音

年の初めに & 阪神淡路大震災30年 神戸の記憶

和鉄の道 2024年を振り返りつつ 新しい時代へ 日本の未来を若者たちに託す

2024年1年を振り返りつつ、あたらしい年への願いは一つ
みんながみんな 平和で穏やかな暮らしを取り戻せますよう



Merry Christmas & A Happy New Year
God Be With You & You Raise Me Up
われら地球人 平和で穏やかな暮らしを思いをはせつつ
みんながみんな 平和で穏やかな暮らしを取り戻せますように
本年よろしくお願ひします
2025年 元旦

Mutsu Nakanishi From Kobe



2024年1年を振り返りつつ、新しい時代へ 日本の未来を若者たちに託す



2025年1月年賀 & 2月節分 春の足音 神戸便り 2025.2.5.

【Photo File】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0701nengaweb.pdf>

収録 阪神淡路大震災30年 神戸の記憶

<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeEarthquake30thAnniv.pdf>

- 収録1. 神戸新聞 朝刊コラム 正平調 2025.1.15. - 1.17. 転記 [fkobeEarthquake30thAnnivA.pdf](#)
- 収録2. 文珍さんの落語的見聞録 1月「助け合う気持ちと行動」 [fkobeEarthquake30thAnnivB.pdf](#)
- 神戸新聞朝刊連載より転記 2025.1.16. [fkobeR0701Bunchin.pdf](#)
- 収録3. < 経済小説の迫真 同時代の光と影 > (33) [fkobeEarthquake30thAnnivC.pdf](#)
- 震災復興に重なる 町工場の底力 小関智弘著「春は鉄までが匂った」
- 鉄のものづくり 神戸淡路大震災特集 神戸新聞 1月15日夕刊特集より転記

◎ 能登半島大地震ではじまった激動の1年 能登ではまだまだ復興の足音が遠く、支援の手が急ピッチで進むことを願う。また、ロシアのウクライナ侵攻も3年を迎えたが、一向に収まらず、さらにイスラエルのパレスチナ侵攻と戦禍で廃墟と化した都市と逃げ惑う人の群れ。さらに 激変する中東そして中国の海洋進出に北朝鮮の核開発が急ピッチで進む。戦禍は収まるどころか、世界が戦争・核の脅威に巻き込まれる危険をはらんだ状況の中、世界的な物価高と政情不安に世界がおそわれる状況に。

◎ 一方 地球環境変化による自然災害もますます過酷になり、世界が激甚災害に襲われる状況。

地球温暖化 24年の世界気温、上昇幅1.5度超 EU 機関見通しに。

このまま脱炭素の取組が進まぬと、地球暴走に歯止めがかからぬ時代へ。

地球上で暮らすわれら地球人 良くも悪くも一人よがりだけでは生きてゆけぬ時代になったと感じる一年。

核の脅威と戦禍 そして、物価高と人々の暮らしの格差も世界そして日本でも大きく広がりがつつある状況。

これから先がどうなるのか、一日も早く みんながみんな 平和に暮らせる時代が来ることを願う一年でもありました。

◎本年の夏 酷暑と猛烈な集中豪雨が各地で猛威を振るい、また、遅れた短い秋。

日に日に色濃くする素晴らしい秋景色に魅せられ、また、今までの季節感が随分変わった年に。

これも地球温暖化がもたらした産物と考えるとちょっと複雑。良くも悪くも時代が変わる。

◎ノルウェーのノーベル賞平和委員会は日本原爆被団協の活動を2024年ノーベル平和賞に選び

現在の危機的状況に警鐘を鳴らす。

若者たちへの平和運動への参画を訴えるとともに、大国主義に頼る今の世界情勢に強い警鐘を訴えた。

一方 ドジャース大谷選手やパリ五輪で活躍した若者たちの笑顔が世界の人たちを勇気づけた一年



◆ 新しい時代幕開けの予感とともに 地球環境変化を食い止める脱炭素社会への取組には影を落とした一年に

世界情勢の厳しい現実が脱炭素社会構築への取組にも影を落とすと、

自然災害の激甚化は収まるどころか、益々凶暴化し、猛威を振るう。

脱炭素社会構築の基本となる再生エネルギーへの転換にも大きな影響。膨大な設備投資を伴う再生エネルギー資源の実用化へのアプローチが遅滞し、それを補う原子力発電への回帰が取り出された年。今後世界はどう向かうのか…

日本でも、化石燃料による火力発電の縮小のために 本年末には原子力発電復活への修正が静かに行われた。

◎ 激動の時代の中、日本は孤立 政治は混沌 誰の目にも日本の衰えが見えてくる。

その象徴的な光景「インバウンドの波」日本で安く物が買えて、不思議の国日本観光も…

日本は高齢化・人口減が進み、技術立国日本を牽引してきた製造業の衰退が著しく、労働人口減少・人口減少の中で、GNPの衰えに歯止めがかからず。世界的な厳しい物価上昇の中で、先進国で唯一賃金上昇が進まぬ国に。

政府は観光立国日本 高度情報化を声高に叫ぶが、「これでよいのか 日本!!」

この秋 厳しい国際情勢に巻き込まれる日本でも日本の高度情報社会の課題が爆発した

- 1.自民党幹部議員の裏金問題 政権与党自民党の衆議院選挙の歴史的敗退
- 2.闇バイトと呼ばれる顔の見えない世界 Webに操られた脅迫犯罪への対処への無力な姿
- 3.インターネットを操る人たちに占拠された兵庫県知事出直し選挙の姿

良くも悪くも日本も若者の時代への転換を進めないと、日本の疲弊は益々進むだろうと……

もう老獪な仲間政治では世界に伍せない事が、国民にも見えてきた年でもありました。

これから日本は どう向かうのか……

なにはともあれ、時代が変わる この厳しい時代を元気な若者たちに託す

世界が変わる激動の一年 若者たちのエネルギーに期待一杯。

もう老獪な仲間政治では世界に伍する事が出来ないことが、国民にも見えてきた年でもありました。

良くも悪くも日本も若者の時代への転換を進めないと、日本の疲弊は益々進むだろうと……

なにはともあれ、時代が変わる 世界が変わる激動の一年 若者たちのエネルギーに期待一杯。

一日も早く平和で穏やかな社会の実現を願う一年でありました。

そんな中で、老いと向き合う毎日ですが、愚痴は言うまい

みんなにも 助けてもらいつつ 日一日また一日 元気に毎日をと 前向いて

ありがとうございます。 引き続き お互い元気で毎日を

God Be with You!!

2024.12.31. 2024年を振り返りつつ From Kobe Mutsu Nakanishi



日本製鉄 水素高炉

日本製鉄は20日、脱炭素戦略の一環として開発中の高炉水素還元製の製鉄手法で、二酸化炭素(CO2)を40%以上削減する技術を試験炉で確立したと発表した。40%を超える削減は世界で初めてといい、開発目標としていた2025年末から1年前倒しで達成した。 | 1日前 | <https://www.nikkei.com>

日本製鉄、試験炉で高炉水素還元 世界初CO2削減40%超 - 日本経済新聞



膨大な設備投資を伴う再生エネルギー資源の実用化へのアプローチが遅滞 世界的な原子力発電への回帰

水素製鉄はまだまだ、試験段階。着々と進む大型電気炉。日本は大量生産と製鉄原料の自由度の大きい高炉の復権に成功できるだろうか……

一日も早く平和で穏やかな社会の実現を

フレッシュな若者たちに託す

そんな中で、老いと向き合う毎日ですが、愚痴は言うまい

みんなにも 助けてもらいつつ 日一日また一日

元気に毎日をと 前向いて ありがとうございます。

引き続き お互い元気で毎日を God Be with You!!

2024.12.31. 2024年を振り返りつつ

From Kobe Mutsu Nakanishi



2025年1月 & 2月更新 令和7年年賀 神戸便り 2025.2.5.

2024年年の初めに & 阪神淡路大震災30年 神戸の記憶

阪神淡路大震災 1995.1.17. 神戸の記憶

[fkobeKobeEarthquake30thAnniv.pdf](#)



1. 2025年年の初めに 2024年1年を振り返りつつ、
あたらしい年への願いは一つ
みんながみんな 平和で穏やかな暮らしを取り戻せますよう

2. 阪神淡路大震災30年に思う

阪神淡路大地震30年 神戸の記憶 神戸新聞の切り抜き他

2.1. 神戸新聞 朝刊コラム 正平調より

- ◆「ボランティアは押しにかけていい。迷惑をかけてもいい。その何倍もいいことをすればいい。来てくれただけで、本当に喜ばれるのだから」。昨年、能登でも同じ言葉を聞いた 2025.1.15.
- ◆ 公平、理屈、効率といった「官」の論理にとらわれず、必要があれば行動する。ボランティアから生まれた思想が社会のありようを変える。この熱源を消したくはない 柔軟で活気のある自由な社会は強く、優しい。 2025.1.16.
- ◆ 遠く離れた町で故郷の被災に心を痛めた人、リュックを担いで駆けつけた人、語り部の方の話や授業、職場の研修で学んだ世代。震災に寄せる思いは人それぞれ。それでいい、それがいい。これからも寒い朝には目が覚めるだろう。31年になっても、40年が過ぎても。そして、込み上げるものを抱きしめる。 2025.1.17.

2.2. 文珍さんの落語的見聞録 1月「助け合う気持ちと行動」

神戸新聞朝刊連載より転記 2025.1.16.

2.3. ものづくりの魂「現場主義・知識と知恵 技能・技量」への思い

神戸淡路大震災の特集の中に見つけた鉄のモノづくりの記事 神戸新聞1月15日夕刊特集より転記

「鉄のものづくり」<経済小説の迫真 同時代の光と影> (33)

震災復興に重なる 町工場の底力 小関智弘著「春は鉄までが匂った」

表題作「春は鉄までが匂った」のタイトルの意味を語ってもらおう。

前の晩に雨に打たれた屋外の鉄屑が、赤錆びながら太陽を浴びれば、酸化熱を発生しながら湯気を立てる。

それが甘酸っぱく匂うのは工場の人間なら誰でも知っている。

【心に響いたものづくりの言葉】

「ものづくりの魂には 永久に自足するということがない」

「消費に特化した町は どこか薄っぺらい。

強いのは生産機能のある町。多様だからこそ変化に対応できる」

ものづくりの魂「現場主義・知識と知恵 技能・技量」への思い

街歩きの途中 現場の匂いがなつかしく、 工場の匂いに足を止める事がある

2025.1.17. Mutsu Nakanishi



収録1.正平調

収録2 文珍さんの落語的見聞録。

収録3 小関智弘著「春は鉄までが匂った」

「神戸淡路大震災震災30年 神戸の記憶」本資料巻末に全文を記録収録しています

阪神淡路大震災 1995.1.17. 神戸の記憶 [fkobeKobeEarthquake30thAnniv.pdf](#)

3. 2月 如月 2月2日 節分

節分に思いをはせて「福は内 鬼も内」

日本各地を寒波・大雪がつづく、寒い2月の始まりになりました。

各地で災害が多発。お見舞い申し上げます。

御身に降りかかる危険 危険予知の目配りを。

どうか無理せず、わが身をお守りください。

神戸でも粉雪や朝晩は急激な冷え込み・気ままな天候急変と

くるくる変わる一日が続いて、散歩するのもままならず。

今年も神戸近郊では節分 追儼式・鬼踊りがやってきて、

西神戸の里の鬼踊りに出かけたかったのですが、

今年も出かけることができず。

でも、2月には節分の鬼の話がが欲しいと、以前「和鉄の道」に

まとめ掲載した節分の鬼のページを眺めながら、

今年も穏やかな一年になるようにと、今年の節分を我が家で

すごしました。



【 古い和鉄の道・Iron Road の記録より神戸「節分の鬼&鬼踊り」について 】

節分の鬼に思いを馳せて 災い祓い「福は内 鬼も内」 和鉄の道 2023 より



節分の鬼に思いを馳せて
福は内 鬼も内

1. 春迎え「福は内 鬼も内」
2. 神戸の鬼・仲間の鬼

みんなが明るく平和に
暮らすことができますように
また数多くの災いが早く収束し、
災いの中にある人達に、
手が差し伸べられますように、



節分 西神戸近郊の里の 追儼式&鬼踊り 押部谷 性海寺・長田神社・稲美 野寺高蘭寺

■ 鉄の道 Monthly 神戸便り春の足音 春はすぐそこに 神戸便りより
<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/R0502.htm>

■ 2021 和鉄の道 Monthly 2021 春の足音 2月の便り
<https://infokkna.com/ironroad/2021htm/R0302.htm>

◆ [節分の鬼に思いを馳せて 災い祓い「福は内 鬼も内」 2021.2.3.](#)

「鬼にされた愛すべき仲間の鬼たち」の鬼伝承やことわざ

◎「仲間としての鬼」鬼にされた たたら製鉄集団-

◎「日本各地の鬼伝説」和鉄の道・Iron Road 掲載リスト

◎「日本人の心の故郷」縄文」

4. 仲間からの定期便

◎ M.Aさんからの定期便 今月の言葉

ニューモラル 1月・2月より

1月「人の力」を方向つけるもの

2月 日本を知っていますか?



「人の力」を方向付けるもの

品性は
無形の財産

品性は、私たちが生きがいや幸せを実現する上で大切なものですが、それらが本当に自分や他人や社会のために役立つものになるかどうかは、その人の品性にかかっています。

品性は人格の中心にあつて、私たちが持つさまざまな力を生かす根源的な力です。そして高い品性とは、自分のことだけにとらわれず、相手を豊かに思いやることのできる「広い心」であるともいえるでしょう。

目に見えない品性こそ、私たちの大きな財産なのです。

私たちの暮らしは、一昔前と比べても格段に便利で快適なものになってきています。しかし、そうした生活の中で物質的な豊かさばかりを追い求め、知らず知らずのうちに道徳というものを軽視してしまっているのではないのでしょうか。

社会の中で多くの人と関わり合つて生きる私たちが、一人ひとり好き勝手なことをしていたら、お互いの「自分さえよければ」という思いが衝突して、心穏やかではいられなくなります。社会にも混乱を招くことは言うまでもありません。

改めて道徳とは、私たちがこの社会の中でより良く生きていく上での道しるべとなるものです。そうであるならば、時代が進み、世の中が進歩していけば、道徳もまた、それに伴って進歩すべきものといえるのではないのでしょうか。

社会が複雑化・高度化すればするほど、私たちが直面する道徳上の課題も複雑なものになっていくのでしょうか。また、進歩した科学技術を正しく使いこなす上で私たちが今、便利で快適な生活を送ることができるのは、科学技術にしても社会制度にしても、先人たちが「今よりも住みよくなった世の中を次の世代に伝える

次
の
世
代
の
心
豊
か
な
暮
ら
し
の
た
め
に

よう」との思いで努力を重ね、発展させてきてくれた結果です。私たちもまた、次の世代に「より良い世の中」を伝えることができるような生き方を志したいものです。

今を生きる私たちが、一人ひとりの「人間としての生き方」も含めて、少しでも良い状態にしていってこそ、将来にわたって安心のある社会が実現されるのではないのでしょうか。

より良い世の中

信頼される日本人 になるために



国際社会の中で、異なる文化を持つ人々と共に生きていくためには、まずお互いの国について知る必要があります。日本人はアピールが下手だといわれますが、国としても、また個人としても、日本をもっと知ってもらう努力が求められます。

それは「日本の素晴らしさ」だけを主張することではありません。広い視野を持ち、相手に対する敬意を忘れることなく、確かな道徳心を養っていくことが、「世界の人々から信頼される日本人」となる上で大切なことではないでしょうか。

日本を知っていますか？



グローバルな時代においてこそ

普段の生活の中では「自分は日本という国の中で生きている」などと、ことさら意識することはないかもしれませんが、しかし実際には、日本の国の安定の上に私たちの安心・安全な暮らしが保障されているのではないのでしょうか。今の日本には課題がまったくないとはいえず、私たちが日々こうして生活を送ることができているのは、国内に一定の秩序が保たれ、私たちの暮らしを守る社会制度が整っているからでしょう。

私たちは今のような暮らしを送れることを、当然の権利のように思っていないでしょうか。しかし世界に目を向ければ、この状況が必ずしも「当たり前」ではないことに気づかされます。

私たちの今の暮らしは、日本の国という基盤の上に成り立っています。それは長い歴史の中で、多くの先人たちによる苦勞と努力の末に築かれてきたものなのではないでしょうか。「建国記念の日」に際しては、まずはその点に心を向けてみませんか。そして、今の日本の国を形づくっているのは私たち一人ひとりであることも、心に留めたいものです。

そして、今の日本の国を形づくっているのは私たち一人ひとりであることも、心に留めたいものです。



「今はグローバルな時代だから、国などというものにとらわれる必要はない」と考える方もあるかもしれませんが、しかし国際社会とは、一つ一つの国が集まることで形づくられるものではないでしょうか。自分の国に愛着を持つことは、他の国々を尊重する態度を養う第一歩ではないかと思うのです。

お互いの国で培ってきた歴史と文化に対する敬意を持ち、お互いの「良いところ」に学び合い、高め合つてこそ、人類社会の未来が開けていくのではないのでしょうか。

年の初め われら 地球人 自らの生き方 世相を見つめる目。
いま 忘れ去られようとしていること 頭の隅に置きざりになっていることを
ありがとうございます 2025.2.5. Mutsu Nakanishi

皆様からの年の初めの便り

共に過ごした時を思い浮かべつつのうれしい便り ありがとうございます。

80 を越えて思うに任せずで、失礼ばかりですが、お許してください。

HP 更新も遅れがち、内容も未整理になっていますが、元気に暮らしている印にと。

何かのお役に立てばと。定期的な季節の便りをお届けできずですが、

老化防止の頭の体操もかねてできるところまでと。

思いもよらぬハズニングが次々と

また この年末年始にも仲間の訃報が届き、涙することも。

もうそんな歳になったと

あれやこれや思い浮かべつつ "今日も一日 Nice Day!!

お互い無理せず毎日を!!

God Be with You!!

2025.2.5. Mutsu Nakanishi

5. 春の足音が聞こえる冬の朝



日本列島を襲った寒波もやっと収まって、庭では、福寿草が頭をもたげ、
ピンクのサクラソウが咲き始めています 2025.2.12.



日曜日の早朝 夜明けの太陽まぶしい伊川谷小寺の里 里の田園には霜が降りて 手がかじかむ
毎日曜日家内が野菜調達に出かける小寺の里の農家が開く朝市へ 久しぶりに家内の手助け
我が家の野菜の収穫庫 物価高の今 みんな顔なじみで 朝市前の会話も楽しみという



始まる前に一列に並んで、まず、おのおの一品づつ籠にいれ、それから始まるのが流儀という。街の大きな朝市と違い、
近郊農業の里 それぞれの農家持ち寄り運営の朝市 会話も弾む和やかな朝の始まりです

◎ From Kobe 1月 & 2月 Monthly 掲載記事を書き終えて

本年もよろしくお願いします。

厳しい冬の寒さが何とか過ぎて、今関西ではあたたかい陽気になりましたが、お正月が過ぎて、大寒波襲来。

北陸や東日本・東北・北海道では大寒波襲来 度重なる大雪など 荒れた天候が今もつづいていると聞き及び、どうか無理せず厳しい冬を乗り越えられますよう。

新しい年の始まり 特別のトピックスも何もないのですが、本年は阪神淡路大震災30年。

当時の様子が頭に駆け巡るとともに、よくぞ今日までとの思いも強い年の初めです。

もう一つ 家内が新年を迎える準備も済んだ30日の夕、

家の中で転んで、緊急の鎖骨骨折入院。年末年始の大騒動。

1月6日に手術。1月16日に退院し、自動車の運転等みんなが驚く回復ぶり。

この間、近くにいる息子一家や周囲の人たちに助けてもらって、感謝感謝。

やっと平常に戻り、ほっと一安心。

元気がつもりでも、夫婦ともども 何が起きるかわからぬ歳に。

家内のありがたみと共に、家族や仲間の助けに日頃の付き合いの大事さ つくづくわが身に。

新しいニュースは特にありませんが、

HP「和鉄の道・Iron Road」の一年を振り返りつつ、

神戸からの年初めの情報等をお送りして、新年の便りとさせていただきます。

◎ 阪神淡路大震災30年 神戸での震災30年の様子を新聞切り抜きより

◎ 鉄の話題は何とんでも 日本製鉄のUS Steel 買収問題今後への整理

◎ 昨年1年をふりかえって HPに掲載してきたことの整理まとめ等々

まだまだ寒さ厳しい時節 兵庫ではインフルエンザとコロナが、また今再流行期に入り、病院等でも面会・通院も厳しくなりました。

夫婦ともども老化と向き合う毎日ですが、

みんなに助けられつつ、元気に新しい年を迎えました。

いつもありがとうございます。

厳しい年の始まりですが、願いは一つ。

みんなみんな 元気で穏やかな暮らしの歳になりますよう

仲間の元気はみんなの応援歌!! みんな みんな ありがとう

God Be With You!! 一日 また一日 神戸からの便り

2025.1.22. 中西 睦夫



2024年和鉄の道の整理がままならず、愚図愚図している間に2月に

日本各地で大雪の寒波襲来 春への厳しい足音。

神戸でも粉雪や朝晩は急激な冷え込み・寒さと気まぐれな天候急変

くるくる変わる一日が続いて散歩するのもままならず。

"危険予知" "危険予知"と言いながら、ついにやっしまいました。

日曜日 快晴の午後 里山登りのwalkに。

ここ数日の夜半大風で竹林の屑散乱に気を取られて、

いつもの散歩道の階段で つまずいて・・・石段の角で、脛を思い切り打撲。

向こう脛の裂傷。またまた救急病院で脛の裂傷7針縫う羽目に。

脛の傷は肉がないので、中々治りにくくて、全治1ヶ月と医者は言う。

夫婦そろって年の初めから、救急の世話になりました。

つま先平坦な靴はあかんと思いつつ、ついついずぼら。

どこでけつまづくかわからず、毎日履く靴にも要注意。

幸い 骨折にならず、歩くのも支障なしですが、

街中での平坦底の靴での外出はもう厳しいとつくづく。

靴のつま先 十分ご注意ください。

年の初めから、きっちり整理できた更新ができていませんが、お許しください。

また、3月更新には2024年版和鉄の道の製本PDF版完成掲載したいと。

2025.2.10. Mutsu Nakanishi 追伸

高取山上からの大阪湾沿岸の展望

澄み渡る海 神戸の街&港・あべのハルカスもくっきりと 2025.2.9.



2025年1月年賀 & 2月節分 春の足音 神戸便り 2025.2.5.

[Photo File] <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR070Iengaweb.pdf>

和鉄の道・Iron Road 2025 Monthly <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm>